

## 平成 30 年度 第 7 回外来生物等対策部会 議事概要

日時：平成 31 年 3 月 1 日（金）10：00～12：00

場所：リブラ若狭 2 階 第一会議室

参加者：20 名

### 1 開会 あいさつ

### 2 アカミミガメ対策について

#### 【報告 アカミミガメ防除実施計画について】

- ・資料 1（三方五湖アカミミガメ防除実施計画（案））に基づき、前回からの変更点（I・II 編の二部構成、防除の目標を記述、各主体役割を明記）を説明。
- ・計画（案）の内容について部会から概ねの了承を得た。下記議事概要の内容および 3 月 15 日（金）までに若狭町歴史文化課に寄せられた意見を反映させた計画書（案）を 3 月 21 日（木・祝）の全体会で紹介する。計画は可能な限り年度内で確定させる。

#### ○質疑応答等

- ・現在、計画（案）に記載されているもんどりわなはどこが保管しているのか。また、一斉除去イベントに子どもが参加するのなら、子ども用ライフジャケット等はどこにあるのか。具体的に話を進めるために、もっと細かく示してほしい。
- ・もんどりわなは、現在若狭三方縄文博物館で保管している。
- ・子ども用ライフジャケットは、海浜自然センターが所有しており、借用申請手続きいただき、他のイベントと重複しなければ貸与可能。
- ・計画の中でどこまで細かく書くかは、検討する必要がある。
- ・p. 19 の防除の実施、道具類の説明部分に若狭町歴史文化課・県海浜自然センターで貸出可能と書いても良いか。
- ・書いて良い。
  
- ・各団体の役割について、計画書（案）に現在記載していないことでも、できることがあれば申し出ていただければ書かせていただく。
- ・団体のイベント時に普及啓発はできる。
- ・具体的に作業内容を示してもらえれば、できる範囲で協力させていただく。
- ・役割として「捕獲や防除の普及に関する研修会を開催する」、と書かれているが、次年度から研修会の枠に一斉除去イベント（後述）をあてるので、研修会の開催はできない。その他のイベントでのアカミミガメに関する普及啓発は可能。
- ・各団体の役割について、今日この場ですぐに回答はできないと思う。持ち帰り検討してほしい。
  
- ・役割を含め、計画（案）について、3 月 15 日までにご連絡いただければ 3 月 21 日の全体会までに反映させる。全大会では環境省事業で計画（案）を作成したことを紹介（回覧等）する。全大会で紹介するのは環境省としては大丈夫か。

- ・(案)であれば問題ない。
- ・意見があれば、事務局(若狭町歴史文化課)へご連絡いただきたい。
- ・特別採捕申請は、今年も海浜自然センターでまとめてやっていただけるのか。
- ・そのつもりである。カメ等の捕獲を検討している団体は、団体名と構成員の名簿をいただきたい。県大等、調査にかかる特別採捕申請は、申請内容が複雑なので、別途ご連絡いただきたい。
- ・計画(案)で使用している地図は、著作権は大丈夫なのか。
- ・国土地理院地図を使用している。今回のように配布する分には大丈夫と確認したことがある。書籍等にする場合は、別途使用申請が必要。
- ・アカミミガメの分布概要について、分布が白黒のコピー資料でも分かるようにしてほしい。
- ・承知した。
- ・p.17 外来魚駆除券の紹介について、「アカミミガメ」を明記しても大丈夫か。
- ・問題ない。

#### 【協議 捕獲について】

- ・一斉除去イベントについて5月25日(土)または26日(日)に開催予定であること説明。24日(金)にもんどりわなを設置の協力依頼。
- ・もんどりわな設置位置について、鳥浜漁協、海山漁協、南西郷漁協の意見をうかがった。
- ・4月部会でイベント(案)を県自然環境課が提案することとなった。

#### ○質疑応答等

- ・一斉除去イベントについて、海浜自然センターは5月25日(土)26日(日)のどちらかであれば、開催できる。当初海浜自然センターでは25日(土)開催を予定していたが、周辺小学校に確認したところ、日程が体育祭と重なるとのこと。26日(日)であれば、周辺小学校の児童の参加が見込める。
- ・25日(土)・26日(日)のどちらかにイベントを開催する。また24日(金)には、湖周辺にわなの設置が必要。部会員のみなさんには、わな設置・イベントへの参加の協力をお願いしたい。
- ・25日(土)・26日(日)のどちらか、ということだが、この時期は風が強く、船を動かさないことがある。
- ・風が強い場合は、船でないと設置できない場所は別日に実施できればと思う。そもそも、湖のどの部分でわなを設置するとなると船を動かす必要があるのか、土地勘がないので分からない。教えていただきたい。  
(以下、計画(案)p.3およびp.15三方五湖におけるアカミミガメの分布概要(平成30年調査)地図に基づき説明)
- ・久々子湖は、北東の分布地点(体育館付近の用水路・湖岸)でよく見られ、ここは船を使用せず

に設置可能。

- ・水月湖は、周囲に道路があるので、いずれの分布地点も船を使用せずに設置可能。菅湖は、北部の分布地点は道路があるので船を使用せずに設置可能。
- ・三方湖は周囲に道路があるので、いずれの分布地点も船を使用せずに設置可能だが、成出の地点は個人宅の前なので、予め了承を得る必要がある。
- ・設置可能なすべての地点に、わなを設置することは労力的に厳しいと思う。具体的にどこにわなを仕掛けるか、イベントのスケジュール等は一旦持ち帰り、4月の部会で提案させてほしい。

### 3 その他

- ・県立大学富永部会長が第十四回外来魚情報交換会（主催：琵琶湖を戻す会、開催日：平成31年1月26日・27日）の参加報告をした。県大によるブルーギル調査について、以前はかご網を使用していたが2年前から定置網で実施。かご網と定置網の捕獲量は換算可能であり、今後は定置網で調査を実施する予定。内水面総合センターと連携して調査を継続することで、ブルーギルの個体数動態を監視し、多くなった時には外来生物等対策部会で対策を検討したい、とのこと。
- ・若狭高校協力のもと、例年どおり実施する予定。ブルーギルについては、今後当面は現在のモニタリングを継続し、内水面総合センター・県大で協力しながらデータ整理をする。
- ・ヒシの流出対策について、部会として県に要望したいという意見があった。

#### ○質疑応答等

- ・ヒシの流出対策について、部会として取組む（取組み内容に県への要望を含む）ことぜひお願いしたい。県へ要望する場合は、漁協単体ではなく部会として要望したい。
- ・河川課は河川管理者として、ヒシ問題に取り組む必要があるのではないか。
- ・ヒシが安全管理上問題であれば河川課だし、水質関係であれば環境政策課。自然環境課がヒシ対策をしているのは、ヒシの繁茂が生物多様性保全上に悪影響を及ぼすという認識があるからである。ヒシの流出がどういう被害を及ぼしているのか整理することが大切。

### 4 全体会の説明内容について

- ・事務局より、全大会では環境省事業によるアカミミガメ防除実施計画（案）の作成、前回部会で県里山里海湖研究所 石井が説明したこれまでのヒシ対策の取組みと今後の課題について説明すること、口頭で説明。

### 5 今後の予定について

- ・次回部会は4月上旬の土日、東大吉田准教授の調査日程に合わせて開催する。